

ソマリランドでの土地所有権と紛争に関する調査の様子。地域の指導者である長老たちにも、インタビューを行う。

## 特集 ソマリア

### 現地の専門組織や研究者を育てる

ソマリアでは、20年に及び内戦を経て、2012年、ついに正式な連邦共和国政府が樹立されました。その一方で、部族（クラン）を軸とした対立や抗争が国内各地で絶えず、平和への道のりは遠いのが現状です。ソマリアの治安強化や海賊対策は、アフリカの角地域（\*エチオピア、エリトリア、ジブチ、ソマリア、ケニアの各国が含まれるアフリカ大陸東部の半島地域）全体の平和構築と発展のために欠かすことができないもので、その中で地域レベルでの教育や人材育成が重要な課題となっています。

JCCPは、ソマリアで、調査研究や研修を行う現地の組織や研究者の育成支援を行っています。紛争に関する調査分析、紛争管理のしくみの構築、紛争解決を担う人材の育成を自ら進めていくことができるように、現地の組織や研究者らと連携・協力しているのです。

※この事業は、JCCP会員や寄付者の皆様からのご支援と、国連開発計画（UNDP）からの委託により実施しています。

写真左）ソマリア・ガロウェ市内の様子。  
写真右）ガロウェにある東アフリカ大学の様子。



#### 1. 国際平和支援研修センター（IPSTC）：専門家を派遣する

ケニアの首都ナイロビにある国際平和支援研修センター（IPSTC）は、国連平和維持活動（PKO）要員を主な対象とする研修施設です。2001年に設立され、東アフリカ地域における中核的な研修施設として機能しています。また、IPSTCは、国連やアフリカ連合が実施する平和活動に従事する軍人・警察官・文民を訓練することをその主な目的としています。

JCCPは、2013年、IPSTCと連携し、研修や企画会議への邦人専門家講師の派遣・ソマリアの現地機関との合同調査への支援・研修ニーズ調査の実施といった活動を行いました。

##### （1）防衛省との連携強化

林秀樹1等海佐は、防衛省国際平和協力センターにて教育・研究室長を務めています。今回「ソマリアのための文民の保護研

修」の講師として派遣され、「海賊対処行動と文民の保護」というテーマで講義を行いました。林1等海佐の高いファシリテーション技術や英語運用能力、深い専門性が評価され、2014年にも防衛省からの講師派遣が見込まれています。



参加者との質疑応答を行う林1等海佐。

##### （2）国連訓練調査研究所（UNITAR）との連携強化

井上健氏は、国連訓練調査研究所（UNITAR）にて、PKO訓練プログラム

の諮問委員会アドバイザーを務めています。今回は「ソマリアにおける国民対話と和解」ワークショップに講師として派遣され、前任地での活動経験をもとに「東ティモールにおける国民対話と和解」というテーマで発表を行いました。あわせて、UNITARとの連携や組織間協力について協議が行われ、今後のIPSTC研究部門の強化や新規研修の質的向上が期待されています。



井上健氏による発表の様子。

## ご支援へのお礼

### インターノウス株式会社様 からのご支援

2013年10月、インターノウス株式会社様より、100万円のご寄付をいただきました。

JCCPがこれまで南スーダンで実施してきた職業訓練活動の、就職後のフォローまでを一貫しておこなう、という方針にご共感をいただき、ご寄付をご決定くださいました。

### 大間々ライオンズクラブ様 からのご支援

2013年12月、大間々ライオンズクラブ様より10万円のご寄付をいただきました。

当センター理事長の瀬谷ルミ子が群馬県みどり市大間々町の大間々ライオンズクラブにて講演を行った際に皆様からお寄せいただいた募金10万円のご寄付をいただきました。

### MS & AD ホールディングス MS & AD ゆにぞんスマイル クラブ様 からのご支援

MS & AD ホールディングス MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ様より、10万円のご支援をいただきました。

このご支援はJCCPがケニアの首都ナイロビで整備・運営する「チャイルド・セラピー・ルーム」の子ども用遊具の補充のために使わせていただきました。

貴重なご支援をありがとうございました。  
JCCPの現地支援活動に大切にさせていただきます。

## トピックス

### 東京都立国際高校での講演会

2013年10月17日、JCCP職員の笹生雪ブリジットが、東京都立国際高校での講演会に登壇いたしました。講演は、同校の「異文化理解」の授業の一環として行われたものです。

笹生は、自身の青年海外協力隊での経験や、JCCPでの職務内容、現在のケニアでの活動についてお話をいたしました。高校生の皆様は世界情勢や国際協力への関心が高く、国当てクイズに正解したり、質問に積極的に答えたりしてくれました。

### マンフィールド財団人材交流

JCCP東京本部事務局では、2013年11月5日から11月21日の約3週間、マンフィールドフェロースHIPプログラムのフェローである、米国連邦政府職員 Jared Paslay さんの研修受け入れを行いました。

Paslay さんより：人材交流を終えて .....

研修では、様々なプロジェクトや会議に参加させて頂きました。JCCP 英語版書類を修正しながら、幅広く多面的な作業が分かるようにしました。日本の NGO と政府の事務所の雰囲気や動き方の比較も出来て良かったと思います。また世界のどこかで是非会いましょう。



### ケニア海外事業補佐担当 帰国報告会を開催

JCCPでは、2013年11月27日、海外事業補佐の数内しのぶが2ヶ月間のナイロビ事務所勤務を終え帰国したのにあわせ、東京本部事務局で帰国報告会を行いました。

当日は、学生や社会人など様々な方々にご参加いただきました。ケニアのお茶を飲みながら、なごやかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われました。報告会を終えた後、数内は「皆様の様々な視点からのご質問により、新たな発見ができた」と申しておりました。ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。

## JCCPの事業一覧 (2013年12月現在)

事業名 : 国際平和支援研修センター(IPSTC)への平和支援研修及び組織強化事業(東部アフリカ向け)  
事業地 : ケニア  
期間 : 2010年2月~継続中(2013年5月より第3フェーズ)  
助成 : 国連開発計画(UNDP)

事業名 : 選挙暴動後のスラムにおけるコミュニティ平和構築・治安改善プロジェクト  
事業地 : ケニア  
期間 : 2012年3月~継続中(2013年3月より第2フェーズ)  
助成 : 外務省 日本NGO連携無償資金協力

事業名 : 国際平和支援研修センター(IPSTC)によるソマリアにおける紛争予防・平和構築事業支援(ソマリア向け)  
事業地 : ケニア・ソマリア  
期間 : 2010年5月~継続中  
助成 : 国連開発計画(UNDP)

事業名 : 南スーダン・ジュバ市内におけるストリートチルドレンを支援する現地NGO及び現地政府の能力強化及びネットワーク強化事業  
事業地 : 南スーダン  
期間 : 2011年12月~継続中  
助成 : 独立行政法人 国際協力機構(JICA)